

## 安全データシート

製品名 CYCLOOCTADIENE-1,5 (COD)

バージョン 5  
作成年月日 2001/1/19  
改訂年月日 2014/7/28

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名 CYCLOOCTADIENE-1,5 (COD)  
1,5-シクロオクタジエン (COD)

会社名 ダイセル・エボニック株式会社

住 所 〒163-0913 東京都新宿区西新宿 2 丁目 3 番 1 号 新宿モノリス 1 3 階

担当部門及び連絡先 東京本社 営業部 Tel 03-5324-6332 Fax 03-5324-6336  
大阪営業所 営業部 Tel 06-6342-6712 Fax 06-6342-6718

緊急連絡先 東京本社 営業部 Tel 03-5324-6331  
網干工場 品証・製品安全部 Tel. 079-273-3872

MSDS作成 網干工場 品証・製品安全部  
〒671-1281 姫路市網干区新在家 1 2 3 Tel 079-274-3872 Fax 079-274-3927

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性 引火性液体 区分 3

健康に関する有害性 急性毒性（経口） 区分 4  
急性毒性（吸引） 区分 4  
吸引性呼吸器有害性 区分 1

環境に対する有害性 水性環境慢性有害性 区分 2

## ラベル要素

絵表示又はシンボル



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

物理的および化学的危険性 H226 引火性の高い液体及び蒸気 (H225)

人の健康に対する有害な影響 H302 皮膚に接触すると生命に危険 (H310)  
H332 吸入すると有害 (気体, 蒸気, 粉じん及びミスト) (H332)  
H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304)

環境への影響 H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性 (H411)

## 注意書き 安全対策

P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。- 禁煙。

P233 水と接触させないこと。

P240 容器を接地すること/アースをとること。

P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P273 環境への放出を避けること

## 応急措置

P301+P312 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

P331 無理に吐かせないこと。

P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

## 保管

## 廃棄

## 国・地域情報

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質

一般名 1,5-シクロオクタジエン

化学式 C<sub>8</sub>H<sub>12</sub>

成分および含有量

(名称)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)
1,5-シクロオクタジエン	111-78-4	(3) - 2232

バージョン	5
作成年月日	2001/1/19
改訂年月日	2014/7/28

## 危険有害成分

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物	該当せず
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第一種指定化学物質	該当せず

## 4. 応急処置

応急処置方法	自身の保護に十分注意すること。 危険区域から被災者を移動させること。 被災者を保温し、楽な姿勢をとらせ、十分保護すること。 被災者を一人で残さないこと。
吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 被災者が息をしていない時： 人工呼吸を行い、救急救命士に連絡すること。 医師の手当、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。 水、さらに 水と石鹸で洗浄した後にポリエチレングリコール400で除染すること。 もし症状が続く時は医師の手当、診断を受けること。
眼に入った場合	目を開けた状態ですぐに大量の水で少なくとも10分間十分に洗浄すること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 医師の手当、診断を受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状	情報なし。
最も重要な兆候及び症状	情報なし。
応急措置をする者の保護	身体に誤って吸収された後、病理あるいは臨床的な状況は有害成分の吸収の状況に依存する。 (吸収された量、吸収された時間、初期の応急処置での除去の有効性/排泄代謝)
医師に対する特別な注意事項	応急処置を継続すること。 病理あるいは臨床的な状況によって、患者の観察と症状への手当が必要である。

## 5. 火災時の処置

消火剤	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	火災によって 一酸化炭素、二酸化炭素、分解性生物などが発生するおそれがある。 条件によっては少量の有害物が生成する恐れがある。 火にさらされた密閉容器を散水により冷却する。 密閉容器は加熱されると崩壊する恐れがある。 消火作業では、呼吸を確保するための装備を着用する。
特有の消火方法	特になし。
消火を行う者の保護	

## 6. 漏出時の処置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	すべての発火源を速やかに取除く (近傍での喫煙、火花や火炎の禁止。) 必要に応じた換気を確保する。 排水溝に入らないようにする (爆発の可能性)
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材	工具を使用するか、吸着剤を用いること。 内容物を記載した密閉容器に回収する。 好適な吸着剤： 砂、珪藻土、おがくず、ユニバーサル吸着剤 処分する場合は法令に準拠すること。
二次災害の防止策	保護具、保護衣を使用すること。

## 安全データシート

製品名 CYCLOOCTADIENE-1,5 (COD)

バージョン 5  
作成年月日 2001/1/19  
改訂年月日 2014/7/28

## 7. 取扱い及び保管上の注意事項

## 取扱い

## 安全取扱い注意事項

装置周辺で、適切な換気装置や集塵装置を用いること。  
ミスト、蒸気、スプレアの吸入を避けること。

## 保管条件 安全な保管条件

静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
着火原から離すこと。

## 保存

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。  
換気の良い涼しい場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
不活性ガス下で保存する。(窒素)  
製品は安定剤が入った状態で供給される。  
同時に保存してはならないものはルールに従うこと。  
火気厳禁

## 8. 暴露防止及び保護措置

## 管理濃度

未設定

## 許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

未設定

## 設備対策

可能であれば 密閉された 移送、充填、計量、混合施設を利用するか、局所排気設備を用いる。

## 保護具

## 呼吸器の保護具

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合やTLVを超える場合は、有機物の蒸気用のマスクを着用する。

## 手の保護具

保護手袋を着用すること。

## 眼の保護具

化学飛沫用のゴーグル及び適切な顔面保護具を着用すること。

## 皮膚及び身体の保護具

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること

## 衛生対策

しぶきの可能性がある場合は、全面耐薬品性防護服 (例えば、酸スーツ) 及びブーツが必要である。  
蒸気/ミストを吸わないこと。  
皮膚と目への接触を避ける。  
汚染された衣服は着用しないこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 物理的状態、形状、色など

無色透明液体

## 臭い

芳香族臭

## pH

データなし

## 融点・凝固点

-70℃ (融点)

## 沸点、初留点及び沸騰範囲

150-153℃(1013hPa)

## 引火点

35℃

## 爆発範囲

データなし

## 蒸気圧

5.4hPa (25℃)

## 蒸気密度 (空気 = 1)

データなし

## 比重 (相対密度)

0.88

## 溶解度

&lt; 0.05 g/l (20℃)

## オクタノール/水分配係数

データなし

## 自然発火温度

約270℃

## 分解温度

大気圧下で、分解を伴うことなく蒸留できる。

## 蒸発速度 (酢酸ブチル = 1)

データなし

## 粘度 (動的)

データなし

## 10. 安定性及び反応性

## 安定性

通常の条件化では安定。

## 危険有害反応可能性

推奨保存条件化では安定。

## 避けるべき条件

熱源や着火原から離して保管すること。

## 混触危険物質

酸化性物質

## 危険有害な分解生成物

燃焼により熱分解性生物、一酸化炭素、二酸化炭素を精製する。

## 11. 有害性情報

## 急性毒性 経口

ラットを用いた経口投与試験のLD50 = 1900m g/ k g

## 経皮

ラットを用いた経口投与試験のLD50 &gt;10000 g/ k g

## 吸入(蒸気)

ラット致死濃度 : 12-19mg/L /4h/vapor

## 吸入(ミスト)

データなし。

バージョン 5  
 作成年月日 2001/1/19  
 改訂年月日 2014/7/28

皮膚腐食性・刺激性	中程度の皮膚刺激性
眼に対する重篤な損傷・刺激性	目刺激性はみられない。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	
呼吸器感受性	データがないため、分類できないとした。
皮膚感受性：	モルモットでは感受性を示さなかった。
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	長期の動物実験の結果は出ていないが、本化合物は遺伝毒性を示さず、発がん性を示さないと推定される。
生殖毒性	情報なし
変異原性	バクテリア、哺乳動物細胞培養物による試験では変異原性を示さなかった。また、動物実験でも変異原性を示さなかった。
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	アセスメントにより有害性ありの分類はなされなかった。
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	アセスメントにより有害性ありの分類はなされなかった。
吸引性呼吸器有害性	誤嚥の危険性あり

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境急性有害性	オオミジンコ EC50 1.1mg/L、148時間
水生環境慢性有害性	知見なし
残留性/分解性	
分解性	低分解性
生体蓄積性	揮発性が高く、蓄積されないと考えられる。
土壤中の移動性	オクタノール/水の分配係数が高いことから、土壌成分に親和性があり、移行性は低いものと推定される。
オゾン層への有害性	知見なし

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 1 4. 運送上の注意

国際規制	海上輸送はIMOの規則に、航空輸送はICAO/IATAの規則に従う。
国連番号	2520
国連品名	シクロオクタジエン
国連危険有害性クラス	3
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
国内規制	海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
特別安全対策	移送時にイエローカードの保持が必要。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号	130P

## 1 5. 適用法令

化学物質等に適用される法規制	
労働安全衛生法（法第57条の2）	対象成分を含有せず
労働安全衛生法（施行令別表第1第4号）	危険物、引火性の物
化審法	登録済化学物質
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	対象成分を含有せず
毒物及び劇物取締法	対象成分を含有せず
消防法	第4類引火性液体、第二石油類非水溶性
安全保障貿易管理制度	該当せず

**安全データシート****製品名** CYCLOOCTADIENE-1,5 (COD)

バージョン 5

作成年月日 2001/1/19

改訂年月日 2014/7/28

**16. その他の情報****参考文献**

JISZ7253 : 2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 – ラベル, 作業場内の表示および安全性データシート  
EVONIK社 SDS

**制約事項**

本製品安全データシートは現時点における当社の知見に基づき、安全性確保の観点から記載されたものです。  
従ってこの安全データシートに記載されている内容が、本製品の特性を保証したものでない旨をあらかじめご承知おきください。

**記載事項内容の問い合わせ**

網干工場 品証・製品安全部  
ダイセル・エボニック株式会社  
電話 079-274-3872